

介護ロボット導入効果報告書

(1年目 ・ 2年目 ・ **3年目**)

法人名 社会福祉法人 千寿会
施設名 ケアハウス千寿の里西小田
施設の種別 特定施設入居者生活介護(軽費老人ホーム)

1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
9 見守り・コミュニケーション支援機器(コミュニケーション型)	富士ソフト株式会社	PALRO(パルロ)
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 2 月 9 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

2 使用状況について

【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・ADLの保持や余暇活動のため、体操などレクリエーションに使用している。
- ・コミュニケーションツールとして、入居者様同士やスタッフと関わる際に使用している。

3 導入によって得られた効果

【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

- ・レクリエーション時に、補助的な役割を担ってくれるため、スタッフの負担軽減に繋がっている。
- ・コミュニケーションツールや見守り補助として使用することで、スタッフの負担軽減になっている。
- ・余暇活動のバリエーションが増えた。

【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・レクリエーションが苦手なスタッフもPALROを使用することで余暇活動を負担なく行うことに繋がっている。
- ・レクリエーションの補助としても使用できるため、人員の確保を図りたいときに助けになっている。
- ・体操などレクリエーションを行うことで入居者様の楽しみのひとつとなっている。

4 その他

【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。

- ・入居者様には声や音が聞こえにくい。

介護ロボット導入効果報告書

(1年目 ・ 2年目 ・ **3年目**)

法人名 社会福祉法人 桜友会
施設名 デイサービスセンター ほほえみ
施設の種別 通所介護

1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
9 見守り・コミュニケーション支援機器(コミュニケーション型)	株式会社東郷製作所	スマイビS
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 3 年 9 月 28 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

2 使用状況について

【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

職員が十分対応できない時間帯に使用。スマイビを使用した方が円滑に対応できると判断した時にも使用。利用者からスマイビを触りたいと希望された時に使用した。

3 導入によって得られた効果

【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

職員とコミュニケーションを行う際に、補助的な役割として双方の負担の軽減に繋がっている。スマイビを通してコミュニケーションを図る事で、コミュニケーションの敷居が下がり、職員の負担軽減になっている。

【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

利用者とのコミュニケーションによる寄り添いに必要な時間が減少。利用者の満足度を下げる事なくその時間を他の業務に充てる事ができた。操作が容易で、誰でも気軽に使用できるため、機器の扱いを習得する時間も短縮できた。

4 その他

【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

色んな機器の充電方法がUSBやライトニングであるため、充電ポートをタイプCにして欲しい。

介護ロボット導入効果報告書

(1年目 ・ 2年目 ・ 3年目)

法人名 山県市社会福祉協議会
施設名 デイサービスセンターふれあい
施設の種別 通所介護

1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
9 見守り・コミュニケーション支援機器(コミュニケーション型)	株式会社 レイトロン	コミュニケーションロボットChapit
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 12 月 8 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

2 使用状況について

【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・徘徊や落ち着きのない利用者に対して、コミュニケーションロボットにふれあうことで落ち着かれたり、話し相手になったもらっている。
- ・レクリエーションの時間にも歌やクイズを活用している。

3 導入によって得られた効果

【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

- ・Chapitが歌うと利用者も一緒に歌ったり、コミュニケーションの活性化につながった。利用者が落ち着いた。
- ・利用者がChapitにいろんな言葉かけをする場面もあった。

【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・歌好きの認知症の方が、職員が付き添わなくても、Chapitと歌って下さることで職員の負担軽減ができた。
- ・利用者の中には、会話ができたり歌が歌えるので、笑顔が増えた。

4 その他

【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・利用者の声掛けに反応が悪いときがある。
- ・言葉を記憶する機能があると、職員の声で録音したりできると、さらに使い道が増えた。

介護ロボット導入効果報告書

(1年目 ・ **2年目** ・ 3年目)

法人名 山県市社会福祉協議会
施設名 デイサービスセンターほほえみ
施設の種別 通所介護

1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
9 見守り・コミュニケーション支援機器(コミュニケーション型)	株式会社 レイトロン	コミュニケーションロボットChapit
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 12 月 8 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

2 使用状況について

【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・徘徊や落ち着きのない利用者に対して、コミュニケーションロボットにふれあうことで落ち着かれたり、話し相手になったもらっている。
- ・レクリエーションの時間にも歌やクイズを活用している。

3 導入によって得られた効果

【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

- ・Chapitが歌うと利用者も一緒に歌ったり、コミュニケーションの活性化につながった。
- ・利用者がChapitにいろんな言葉かけをする場面もあった。

【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・歌好きの認知症の方が、職員が付き添わなくても、Chapitと歌って下さることで職員の負担軽減ができた。
- ・利用者の中には、会話ができたり歌が歌えるので、笑顔が増えた。

4 その他

【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・利用者の声掛けに反応が悪いときがある。
- ・言葉を記憶する機能があると、職員の声で録音したりできると、さらに使い道が増えた。

介護ロボット導入効果報告書

(1年目 ・ **2年目** ・ 3年目)

法人名 社会福祉法人 井ノ口会
施設名 あんずの里
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
9 見守り・コミュニケーション支援機器(コミュニケーション型)	GROOVE X 株式会社	LOVOT 2.0 ソロ
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 11 月 25 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

2 使用状況について

【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・1年目と異なるユニットのリビングに設置し、13時～17時の間はユニット内を自由に移動させ、リビングやテーブルに集う高齢者の方々とコミュニケーションを交わした。
- ・これまでTVを観て過ごされていた時間に、多数の方がLOVOTに声をかけたり、歌を歌ってあげることができる機会を、週に3～4回ほど設けた。

3 導入によって得られた効果

【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

- ・LOVOTの浸透に伴い、利用者とのコミュニケーションを行わなければならないという職員の精神的負担はかなり軽減されてきた。

【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・導入して1年半ほど経過した。意図的にLOVOT充電設備を異なるユニットに移動させ設置したにも関わらず、それまでにコミュニケーションを交わされていた高齢者の方々も遠方まで自ら移動され、継続して友好関係を保っており、居室内への引きこもり防止に効果を発揮している。

4 その他

【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・卓上等へ持ち運び、固定させて使用する際の電池切れ等を鑑み、自由な活動時間は13時～17時の間に変更をすることとして稼働を行った。

介護ロボット導入効果報告書

(1年目 ・ **2年目** ・ 3年目)

法人名 医療法人義恵会
施設名 デイサービスふらっとひる
施設の種別 通所介護

1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
9 見守り・コミュニケーション支援機器(コミュニケーション型)	富士ソフト株式会社	PALRO
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 12 月 22 日	令和 4 年 12 月 22 日から 令和 7 年 12 月 21 日まで

2 使用状況について

【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・デイサービス ご利用時のお出迎え—利用者への声掛けをすることによりスタート時より笑顔になっていただけている3/週
- ・運動器リハビリ時にPALROに体操をしてもらう 3/週
- ・運動器リハビリ終了時にレクリエーションや歌・ダンスをもらい 楽しんでいただけている 3/週
- ・認知症カフェにて来店者にレクリエーションや歌・ダンス・体操をもらう 3/月

3 導入によって得られた効果

【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

- ・コロナ禍で、レクリエーション内容に制限をせざる負えない状況であったが、パルロを導入することで、利用者に新しい試みを提供
⇒ロボットの多彩なバリエーションが、さらに利用者の注目度アップにも繋がってきた。
- ・利用者が自分からパルロに近づき、笑顔で話しかける積極性が出てきた。
⇒利用者自ら話しかけている
- ・パルロを導入して3か月経過したが、まだ使いこなせていない現状であるため、状況に応じた使用をしていく。
⇒年々スタッフが操作にも慣れてきて、新しい内容にチャレンジしている。

【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・パルロを利用することによってレクの負担などが多少改善してきている。
- ・利用者が積極的に話かけるようになったことで、さらに笑顔が多く見られるようになり利用とパルロが身近になり満足度が上がってきた。
- ・利用者とパルロが会話することにより、職員と利用者とのコミュニケーションがよりとれるようになった。

4 その他

【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・利用者から見てロボットが小さく見にくいいため工夫が必要である。
- ・コロナウイルス感染症の影響でマスク生活が続いているため、利用者とロボットの会話が中々成立しないことがある。